

第58期（2026年度）事業計画

本会が第58期（2026年 3月 1日～2027年 2月28日）に行う事業の実施計画は次のとおりである。

- ① 研究発表および学術講演会の開催（定款第4条1号）
- ・第65回航空原動機・宇宙推進講演会を次のとおり行う。
開催日 2026年 3月9日～11日
場 所 別府国際コンベンションセンター（大分県別府市）
 - ・第57期定時社員総会と年会講演会を次のとおり行う。
開催日 2026年 4月 15日～17日
場 所 大阪大学 豊中キャンパス（大阪府豊中市）
 - ・第58回流体力学講演会／第44回航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウムを次のとおり行う。
開催日 2026年 6月 24日～26日
場 所 とりぎん文化会館（鳥取市）
 - ・第68回構造強度に関する講演会を次のとおり行う。
開催日 2026年 7月 29日～31日
場 所 ピアザ淡海（滋賀県大津市）
 - ・2026年度「空の日・宇宙の日」記念特別講演会を次のとおり行う。
開催日 2026年 9月未定
場 所 航空会館（東京）
 - ・The 35th Congress of the International Council of the Aeronautical Sciences (ICAS 2026)
開催日 2026年 9月 13日～18日
場 所 シドニー（オーストラリア）
 - ・第23回全日本学生室内飛行ロボットコンテストを次のとおり行う。
開催日 2026年 9月未定
場 所 未定
 - ・第64回飛行機シンポジウム/APISAT2026 (The 2026 Asia-Pacific International Symposium on Aerospace Technology)を次のとおり行う。
開催日 2026年 10月 26日～30日
場 所 札幌コンベンションセンター（札幌市）
 - ・第70回宇宙科学技術連合講演会を次のとおり行う。
開催日 2026年 11月 10日～13日
場 所 ライトキューブ宇都宮
 - ・第31回スカイスポーツシンポジウムを次のとおり行う。
開催日 2026年 12月未定
場 所 未定

さらに、日本航空宇宙学会主催の支部関連の行事を次のとおり行う。

- ・北部支部 2026年講演会ならびに
第7回再使用型宇宙輸送系シンポジウム 2026. 3. 12～13 (北部支部主催)
- ・中部支部第69期支部大会 2026. 3. 24 (中部支部主催)
- ・西部支部第54期支部総会・特別講演会 2026. 3. 27 (西部支部主催)
- ・関西支部第72期総会・特別講演会 2026. 4. 17 (関西支部主催)

以上のほか、関連学術団体との共催講演会等を次のとおり行う。

- ・安全工学シンポジウム2026 2026. 6. 25～27 (本会共催)
- ・第69回自動制御連合講演会 2026. 11. 7、8 (計測自動制御学会他との主催)
- ・第34回衛星設計コンテスト 2026. 11. 14 (日本機械学会他との主催)

- ② 会誌その他図書の刊行（定款第4条2号）

- ・学会誌「日本航空宇宙学会誌」を次のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数	発行年月日	巻	号	発行部数
2026年 3月 5日	74	3	3,400部	2026年 9月 5日	74	9	3,400部
2026年 4月 5日	74	4	3,400部	2026年 10月 5日	74	10	3,400部
2026年 5月 5日	74	5	3,400部	2026年 11月 5日	74	11	3,400部
2026年 6月 5日	74	6	3,400部	2026年 12月 5日	74	12	3,400部
2026年 7月 5日	74	7	3,400部	2027年 1月 5日	75	1	3,400部

2026年8月5日 74 8 3,400部 2026年2月5日 75 2 3,400部
 ・和文論文集「日本航空宇宙学会論文集」をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）によるオンラインジャーナルとして、次のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行年月日	巻	号
2026年4月5日	74	2	2025年10月5日	74	5
2026年6月5日	74	3	2025年12月5日	74	6
2026年8月5日	74	4	2026年2月5日	75	1

・国際論文集“Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences”をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）によるオンラインジャーナルとして、次のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行年月日	巻	号
2026年3月4日	69	2	2026年9月4日	69	5
2026年5月4日	69	3	2026年11月4日	69	6
2026年7月4日	69	4	2026年1月4日	70	1

・和文オンラインジャーナル誌「航空宇宙技術」をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）に随時発行する。

・英文オンラインジャーナル誌“Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences, Aerospace Technology Japan”をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）に随時発行する。

③ 研究および調査（定款第4条3号）

- ・航空宇宙ビジョンの維持改定および広報活動を行う。
- ・航空宇宙の新分野の研究を行う。

④ 関連学会等との連絡および協力（定款第4条4号）

- ・関連学術研究団体の行事に協力し、講演会等の事業を協賛・後援し、連携強化に努める。

⑤ その他目的を達成するために必要な事業（定款第4条5号）

- ・2025年度日本航空宇宙学会賞を次のとおり表彰する。

論文賞（2件）：

「民間航空機 新規計器配置仕様のFeasibility 初期評価手法に関する基礎的研究」

山井洋一（三菱航空機株式会社）、本田健一郎（三菱航空機株式会社）

「小型衛星による大型デブリ除去を可能とする最適な軌道降下シーケンスおよび姿勢経路計画」

佐々木貴広（宇宙航空研究開発機構）、中村 涼（宇宙航空研究開発機構）、

岡本 博之（宇宙航空研究開発機構）、山元 透（宇宙航空研究開発機構）

技術賞：該当なし

奨励賞（3件）：

藤尾 秩寛（九州大学）

「Analytical Characterization and Multi-Objective Optimization of Scramjet Intake Performance」

間々下 智広（横浜国立大学）

「Numerical Analysis on Axial Force Characteristics of Reusable Launch Vehicle at 150–180° Angles of Attack」

岡野 泰人（東北大学）

「有翼大気圏再突入機の空力特性予測に適したプリズム格子生成法」件

宇宙ビジネス共創アワード（2件）：

「展開パラボラアンテナ搭載の小型 SAR 衛星コンステレーションによる準リアルタイム観測データ提供サービスで人類の発展に貢献する宇宙環境の改善に資する、スペースデブリ除去サービス」

株式会社 QPS 研究所

「スロットアレーアンテナを活用した小型 SAR 衛星コンステレーションで地球の変化を捉え解析する、次世代の新たなインフラ」

株式会社 Synspective

・第4回航空宇宙技術遺産を次のとおり表彰する。

- ・大学生により和紙と我が国の技術を使って世界最長を飛んだ人力飛行機 STORK
- ・H-IIA/H-IIB ロケット
ー打上げ輸送サービス実現に導いた世界トップクラスの信頼性を誇る技術ー
- ・宇宙ステーション補給機 HTV の有人対応自動ランデブ技術と大型物資輸送技術
- ・きく2号による静止衛星技術の確立
- ・ESD（超々ジュラルミン）
- ・軌道再突入実験機（OREX）

- ・第5回航空宇宙技術遺産の認定を行う。
- ・2026年度日本航空宇宙学会賞の選考を行う。
- ・第26回（2026度）日本航空宇宙学会学生賞の受賞者を決定し、受賞者表彰を行う。
- ・政府に対して学術界のオーソリティとして各種の技術提言やコンサルテーションの役割を担うと共に、政府との定常的なパイプ作りを通じて会員と政府の距離を近づける。
- ・若手人材の育成に積極的に取り組み、それに必要な制度的・財政的な基盤を整える。またジュニア会員向け行事の企画やジュニア会員の研究発表をエンカレッジする。
- ・月刊メールマガジンの会員向け刊行やX（旧 Twitter）など通じて会員へのタイムリーな情報提供を行うと共に、学会ホームページなどで社会への多様な情報発信を行う。
- ・会員管理システム SMART Members を活用して、会員サービスの一層の向上や、部門・支部活動の支援を行う。
- ・男女共同参画、子育て支援を推進する。
- ・事務局労働環境の整備を引き続き行う。

以上